



すくすく

No.95
令和6年3月

寒さがやわらぎ、春の気配が感じられるようになりました。子どもたちも、寒い冬を乗り越えて、強い体になったのではないのでしょうか。3月は、進級や卒園など節目の月になりますが、十分に睡眠をとり、体調を整えて毎日を健康に過ごしていきたいですね。すくすくハウスでは、来年度もお子さんの気持ちに寄り添いながら、落ち着いて過ごせる環境づくりや温かい関わり方で保育を心がけていきたいと思ひます。

1歳でも花粉症になる？

花粉症になるのは小学生ころからと言われていましたが、最近では少ないながらも1歳過ぎでかかる子もいるそうです。小さい子はつらさを言葉で伝えることができないので、気になる症状が見られたら、一度病院の受診をお勧めします。

気になる症状

水っぽい
鼻水が続く

外に出たときに
目をかゆがる

目がくじゅく
じゅくしている

なってしまったら

- 花粉の飛ぶ時期は、布団を外に干さない
- 部屋に入るときは、花粉の付いた服を着替える
- 外から帰ったら、ぬれたタオルで顔をふく

家の中に花粉を持ち込まないために

花粉のシーズンは、家の中に入る前に花粉を取り除いて、室内の花粉の量を減らしましょう。

粘着テープで花粉掃除

衣類用の粘着テープを玄関に置いておき、服に付いた花粉を取り除きます。洋服をはたくと花粉が砕けて舞い散ってしまうので、気をつけて。



ツルツル素材の上着がお勧め

フリースやニットは花粉が付きやすい素材。花粉の多い季節に外出するときは、いちばん上に着るのは、花粉が付きにくいナイロンのウィンドブレーカーなどがお勧めです。



～すくすくハウスの一コマ～

日差しがポカポカ暖かい日、「もうすぐ春だね」と保育者がつぶやくと「お花咲くかな～」という声が聞かれました。そこで折り紙でチューリップを作ると、「ちょうちょも作ろう」というアイデアが出てきました。いろいろな色のちょうちょやお花が完成し、すっかり春らしいお部屋になりました♪



～感染症情報～

3月になってすっかり春めいてきました。卒業(園)式や入学(園)式の準備でお忙しい皆さんも多いのではないのでしょうか。インフルエンザの流行はまだ続いています。今年の流行は当初 A 型インフルエンザでしたが、ここへきて B 型が流行の中心になってきました。また、先月はウイルス性胃腸炎の流行もいくつかの保育園でありました。季節外れの手足口病も最近増えてきていて流行の予感がします。

インフルエンザ 先月は 202 名(A 型 36 名、B 型 166 名)。流行は現在も続いています。インフルエンザには A 型、B 型の 2 つのタイプがあります。また、A 型にはカルフォルニア、ソ連、香港の 3 タイプがあって一度 A 型になったからと言って安心できないみたいです。症状はどのタイプでもだいたい同じです。突然の高熱、全身倦怠感、関節・筋肉痛の後に 5～7 日間熱が続く、新型コロナ感染症同様、ご高齢の方など抵抗力の弱い人が感染しないよう気を付けて下さい。

アデノウイルス感染症 先月は 20 名。症状は高熱が 4～5 日続き、喉の痛みが強く、目も赤くなります(赤くならないこともあります)。さらに頭痛、吐気、腹痛、下痢を伴うこともあります。

溶連菌感染症 先月は 53 名。溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹などが出ます。舌はイチゴのようになります。嘔吐などの胃腸炎症状のこともあります。1 歳未満の子に感染するのはまれで、5～15 歳の子どもが感染しやすいです。

胃腸炎 先月は 90 名。複数の保育園で流行があり今でも結構多いです。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症 先月は 88 名。子どもの場合、ほとんどが軽症で熱も 1～2 日、食欲も普通だったりして入院になったケースは 1 例もありませんでした。

マイコプラズマ感染症 先月は 4 名。最近、韓国・中国で大流行らしいです。日本でも流行するかもしれません。マイコプラズマという病原体によっておこる感染症です。気管支炎として治療を受けていたが良くならない場合に疑います。

手足口病 先月は 6 名。季節外れではありますがこれから増えてくる予感がします。

ヘルパンギーナ 先月は発生なし。

RS ウイルス感染症 先月は 2 名。流行は収束したようです。

ヒトメタニューモウイルス感染症 先月は発生なし。

水痘 先月は発生なし。

おたふくかぜ 先月は発生なし。

伝染性紅斑 先月は発生なし。

麻疹・風しん 妊娠適齢期の方、風しんにかかったことのない方、風しんの予防接種を受けていない方(30代から50代の方)は抗体検査のうえ予防接種をお勧めします。

つちだ小児科「アイチケット」のサイトは「丸岡町近郊の子どもの感染症」をお届けしていません。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので一度覗いてみて下さい。